

令和5年度 市木まちづくりセンターの主な取組

事業名

ほたる増殖研究会

P

●事業実施に至った背景、目的

高齢化により増殖に携わる人が一人となったことから、地域でほたるの増殖を受け継ごうという思いで、平成30年度よりまちづくりセンター（元公民館）が事業として行うことになった。地域の財産である市木川に乱舞する「ほたる」を多くの人に鑑賞してほしいという思いで継続開催している。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

ほたる博士（長年増殖に携わっておられる方）と採取日の日程調整
実施日等の案内作成、参加者に配布

D

●事業の概要

日 時 令和5年6月13日（火）午後8時～ （現在、13名が増殖に携わっている）

場 所 市木生活改善センター（市木まちづくりセンター）

内 容 ほたる博士より、ほたるの話や採取方法、注意点等をお話していただき、近くの川でオスとメスのほたるを採取

各家庭で産卵、孵化後、川へ幼虫を放流

昨年同様6月上旬～下旬まで鑑賞路、鑑賞スポットの整備、今年度はほたる祭り（ふる里市木）を4年ぶりに開催した。

C

●事業実施後の振り返り

ほたる増殖研究会を立ち上げて6年目になるが、当初はほたるの産卵、孵化が失敗に終わる家庭が多かった。

年数を重ねるにつれ、産卵、孵化の成功率も上がり、今年度はほとんどの家庭が産卵、孵化に成功し、市木川へ幼虫を放流している。放流まで行い、地域の財産であることの再認識ができた。

A

●令和6年度以降の方向性

ほたるは、300～500個の卵を産み、そのうち2%しか成虫にならないと言われています。その2%を5%にしようと目標にしているため、また、今後も継続していきたい。



↑
ほたる採取

ほたる放流



鑑賞路整備



ほたる祭り